

大豆近況 VOL.167

関係部署にご回覧ください。

団体会員
一般会員
賛助会員
協賛企業

各位

令和4年11月7日
一般財団法人 全国豆腐連合会

「大豆近況」をお届け致します。是非、ご活用下さい。

○北米産大豆

10月のシカゴ相場(2023年1月限)は、\$13.7/ブッシェルで始まり、10月31日にはロシアがウクライナ産穀物輸出再開合意を一方向的に停止したことで小麦が高騰し、コーン、大豆も追随し、\$14.1/ブッシェルの引けという月となりました。

米国農務省が10月12日に発表した、2022/2023年度の米国大豆需給報告において、供給面では、期初在庫が274百万(前月240百万ブッシェル)に上方修正となるも、単収がエーカーあたり49.8ブッシェル(前月50.5ブッシェル)、生産量が1億1,738万トン(前月1億1,915万トン)にそれぞれ下方修正され、全体供給数量は1億2,525万トン(前月1億2,609万トン)に下方修正されました。需要面では、搾油用が若干の上方修正、輸出が下方修正され、期末在庫は544万トンと変わらず、在庫率4.54%(前月4.51%)と前月とほぼ変わらない結果となりました。

また、2022/2023年度の世界大豆需給報告ですが、米国産大豆の生産量の下方修正もありましたが、南米のブラジルの生産量の上方修正により、生産量は3億9,099万トン(前月3億8,977万トン)、期末在庫は1億52万トン(前月9,892万トン)、在庫率は26.4%(前月26.2%)と、こちらも前月とほぼ変わらない結果となりました。

米国産大豆に関してですが、10月25日に米国農務省より発表された大豆生育進捗状況によりますと、収穫期を迎えており、進捗率は80%と発表されました。昨年同時期が71%、過去5年の同時期平均が67%である事から、収穫は順調に進んでいることが分かります。今後、天候の影響による相場変更(天候相場)の舞台は、北米(米国)から現在播種が進んでいる南米(ブラジル・アルゼンチン)に移ります。南米の成育状況、中国の大豆買い付け進捗、またロシア・ウクライナの国際情勢など相場変動要因は多く、引き続き注視が必要です。

2021年産大豆の入港状況は、依然として大幅な遅れや船積みキャンセルが発生しており、混乱が続いている状況です。今後も国内在庫ひっ迫が懸念されます。ま

た、海上運賃は高値水準を維持しており、引き続きコストアップの要因となっております。

○為替相場

10月の円相場は、1ドル144円半ばから始まりました。米国の9月雇用統計の良好な結果を受け、ドル高に進む中、日本銀行・黒田総裁による「金融緩和を継続することが適切」との発言に加え、ミネアポリス連銀総裁、フィラデルフィア連銀総裁による「利上げを進めていくべき」との内容の発言を受け、米長期金利が急上昇、10月21日には1ドル150円を超える場面もありましたが、翌22日には円安進行を阻止するため日本政府・日本銀行がドル売り/円買い介入を実施したとみられ、1ドル147円半ばまで下落しました。10月31日時点では、1ドル=148円となっております。

為替の動きは非常に激しく予想が難しい状況ではありますが、米国の景気動向指数は引き続き良好な傾向にあり、ドルが強い状況が続いていることから、引き続きドル高・円安に進みやすい状況であると思われます。

○国産大豆

令和3年産の入札会は7月で終了しております。令和3年産は約40,259トンが上場され、落札率は81.6%、平均落札価格は、普通大豆¥9,864/60kg、特定加工用¥9,152/60kg、全体¥9,709/60kgとなっており、令和4年産の入札会までは、この結果が相場の指標となるものと思われれます。

現在の令和4年産国産大豆の状況ですが、北海道、東北地方では収穫が始まっております。北海道は概ね順調、平年作よりも良い状況です。東北地方は7月の長雨の影響で収量は平年の70%~80%の予想が立てられております。関東甲信、北陸地方は11月中旬頃から収穫が始まる予定です。関東甲信地方は概ね順調、北陸地方は天候不順により若干、収穫が遅れている状況です。東海、近畿、中国、九州地方は11月下旬以降に収穫が始まる予定です。東海、近畿地方は概ね順調、中国地方は台風14号による被害が若干作柄、収量に影響を与える予想が立てられております。ここ数年、大雨や台風の影響を受け、不作が続いていた九州地方ですが、令和4年産は順調に生育が進んでおり、令和3年産の2倍以上の集荷量が予想されております。

令和4年産国産大豆の初回の入札会は2022年12月に行われることが発表されました。北海道等、北側の産地を中心に一部上場されるものと思われれます。初回の結果が国産大豆全体の相場になるということではありませんが、強気な結果となるのか、弱気な結果となるのか注視が必要です。

以上